

# みさわ水道だより 第9号



## 令和3年度三沢市防災訓練での応急給水訓練状況

令和3年11月13日に行われた三沢市防災訓練で応急給水訓練を行いました。上の写真は市所有の給水車から給水袋へ水を入れている状況です。給水車のタンクの容量は1,800ℓで約600人分の水を給水することができます。

発行：三沢市 上下水道部 水道課  
〒033-0037 青森県三沢市松園町二丁目1-52  
TEL 0176-51-2373 FAX 0176-53-8530

## 災害時の応急給水について

水道課では、突然の災害等に際し円滑な対応ができるよう、応急給水訓練を行っています。水道課単体の訓練だけでなく、北東北3県（青森・岩手・秋田）による合同訓練、近隣市町村による合同訓練、三沢市防災訓練への参加と、他市町村・他部署とも連携を図った訓練も行っています。

### ◎訓練状況



日水協（北東北地区） 給水訓練参加状況  
令和3年7月15日 八戸市



北奥羽地区水道事業協議会 給水訓練参加状況  
令和3年10月13日 横浜町

左の写真は北東北3県（青森・秋田・岩手）の水道事業者による日本水道協会東北地方支部北東北地区の訓練に参加した時の状況です。右の写真は青森県南東部・岩手県北部の水道事業者による北奥羽地区水道事業協議会の訓練に参加した時の状況です。

それぞれ八戸市、横浜町で災害が発生し、応急給水が必要になったものと想定して、注水場で給水車に注水し、その後指定された応急給水場所で給水する訓練を行いました。

### ◎七戸町への応急給水支援活動について



令和3年8月10日に発生した大雨の被害により、七戸町において断水が発生する事態となりました。日本水道協会青森県支部より応急給水支援活動を開始する連絡を受け、三沢市では支援活動への参加を表明し、8月10日から13日まで給水車へ七戸町に行き支援活動を行いました。

# 令和2年度 三沢市水道事業会計の決算状況のお知らせ

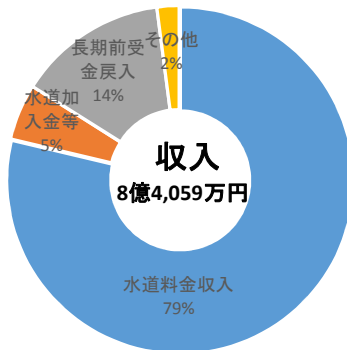
水道事業は、地方公営企業法により独立採算制で運営することとされています。水道事業会計では、事業運営に必要な経費は税金ではなく、市民の皆様にお支払いいただいた水道料金を主な財源として事業運営を行っております。

## 収益的収支

収益的収支は、水道料金などの収入と、水道水を供給するためにかかる費用や減価償却費などの支出からなります。収支差額1億7,649万円が当年度純利益となりました。

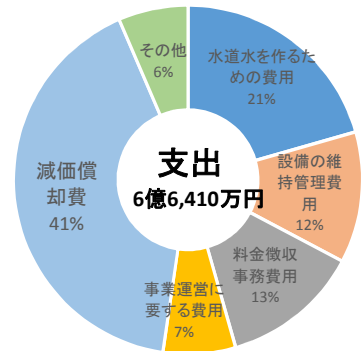
### 収入

内 訳	金 額
水道料金収入	6億6,177万円
水道加入金等	4,404万円
長期前受金戻入	1億1,747万円
その他	1,731万円
合 計	8億4,059万円

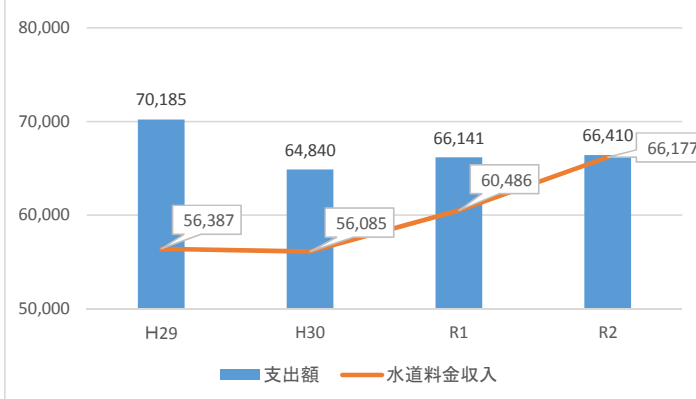


### 支出

内 訳	金 額
水道水を作るための費用	1億3,659万円
設備の維持管理費用	8,087万円
料金徴収事務費用	8,525万円
事業運営の費用	4,458万円
減価償却費	2億7,388万円
その他	4,293万円
合 計	6億6,410万円



水道料金収入と支出額の推移 (単位: 万円)



水道料金収入は、9.4%の増収となっております。これに対し、支出額は前年度と比べて0.4%の増となっております。



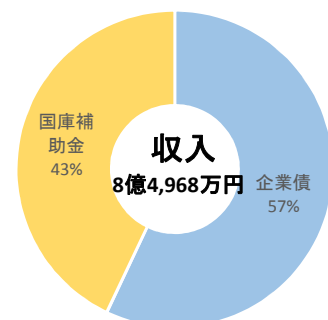
## 資本的収支

資本的収支は、資金の借入や国からの補助金などの収入と、水道施設を建設・改良するための費用や借入金の元金償還金などの支出からなります。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億7,256万円は、損益勘定留保資金などで補っています。

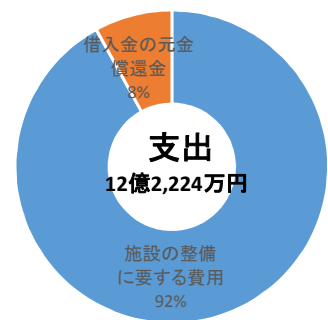
### 収入

内 訳	金 額
企業債	4億8,490万円
国庫補助金	3億6,478万円
合 計	8億4,968万円



### 支出

内 訳	金 額
施設整備の費用	11億2,435万円
借入金の元金償還金	9,789万円
合 計	12億2,224万円



## スマートフォンアプリによるキャッシュレス決済について

令和4年4月からこれまで利用可能だった「PayB（ペイビー）」「LINEPay（ラインペイ）」「PayPay（ペイペイ）」に加えて、新たに「auPAY（エーユーペイ）」「FamiPay（ファミペイ）」のスマートフォンアプリがご利用可能になります。

### ◎利用可能アプリ

- PayB（ペイビー）
- LINEPay（ラインペイ）
- PayPay（ペイペイ）
- auPAY（エーユーペイ）
- FamiPay（ファミペイ）
- ※赤字は令和4年4月から

### ◎用意するもの

- 納入通知書
- スマートフォン若しくはカメラ機能付タブレット端末
- 利用可能金融機関の預貯金口座（「PayB」でのお支払いの場合）

### ◎ご利用方法

- ①アプリを起動
  - ②お手元の納入通知書のバーコードをスキャン
  - ③金額を確認
  - ④アプリの残高からお支払い
- ※「PayB」は、アプリの残高ではなく利用可能金融機関の預金口座からの口座振替となります。

### ◎利用可能料金

- 水道料金
- 下水道使用料
- 農業集落排水処理施設使用料



コンビニ支払用のバーコードがある  
払込票に対応

## 冬期間の認定料金について

通常、水道料金等は各月初旬に各家庭の水道メーターを検針し、検針した使用水量に応じて料金の請求を行います。

しかし、冬期間は積雪により水道メーターの検針ができない場合があります。その場合、水道料金等を認定水量（過去の使用水量を基に計算した使用見込水量）により算出した料金でお支払いいただき、検針が可能となった際に精算しています。

### ◎認定水量算出方法

直近3ヶ月の使用水量と前年同月の使用水量の平均

### ◎精算方法

検針が可能となった際に、実際に使用した水量が認定水量より少ない場合、精算時の料金を減額するか、多くいただいた料金をお返しします。認定水量より多く使用していた場合は、不足分を加算した料金で請求します。

### ◎確認方法

積雪による認定を行った場合は毎月の「水道使用水量等のお知らせ（水道メーター検針票）」下部に「積雪のため認定しました。」と記載されます。